

平成28年度北本市長杯争奪

第40回北本市柔道大会

日 時 平成28年10月23日(日)

午前9時30分開会

会 場 北本市体育センター メインアリーナ



主催 北本市柔道連盟

共催 北本市教育委員会

後援 北本市体育センター

後援 北本市体育協会

後援 北本市接骨師会

故 嘉納治五郎師範遺訓

柔道の本義と修業の目的

柔道は心身の力を最も有効に使用する道である。
その修行は攻撃防禦の練習によって身体精神を
鍛錬修養し、軌道の神髓を体得することである。
そして是に由って己を完成し、世を補益するのが
柔道修行究竟の目的である。

大 会 式 次 第

(開会式)	(競 技)	(閉会式)
役員選手入場	幼年の部	成績発表と表彰
開会宣言	小学生学年別	大会講評
君が代斉唱	中学生学年別	閉会宣言
主催者挨拶	中学生女子の部	役員選手退場
来賓挨拶	高校・一般の部	
優勝杯返還		
選手宣誓		
審判長注意		
連絡事項		
	1. ごみの持ち帰り 2. 会場1階壁際での給水OK、水筒の忘れ物注意 3. 試合開始前に首、背骨の運動、受け身で事故防止 4. 審判補助員のタイマー操作練習	
役員選手退場		

試 合 要 項

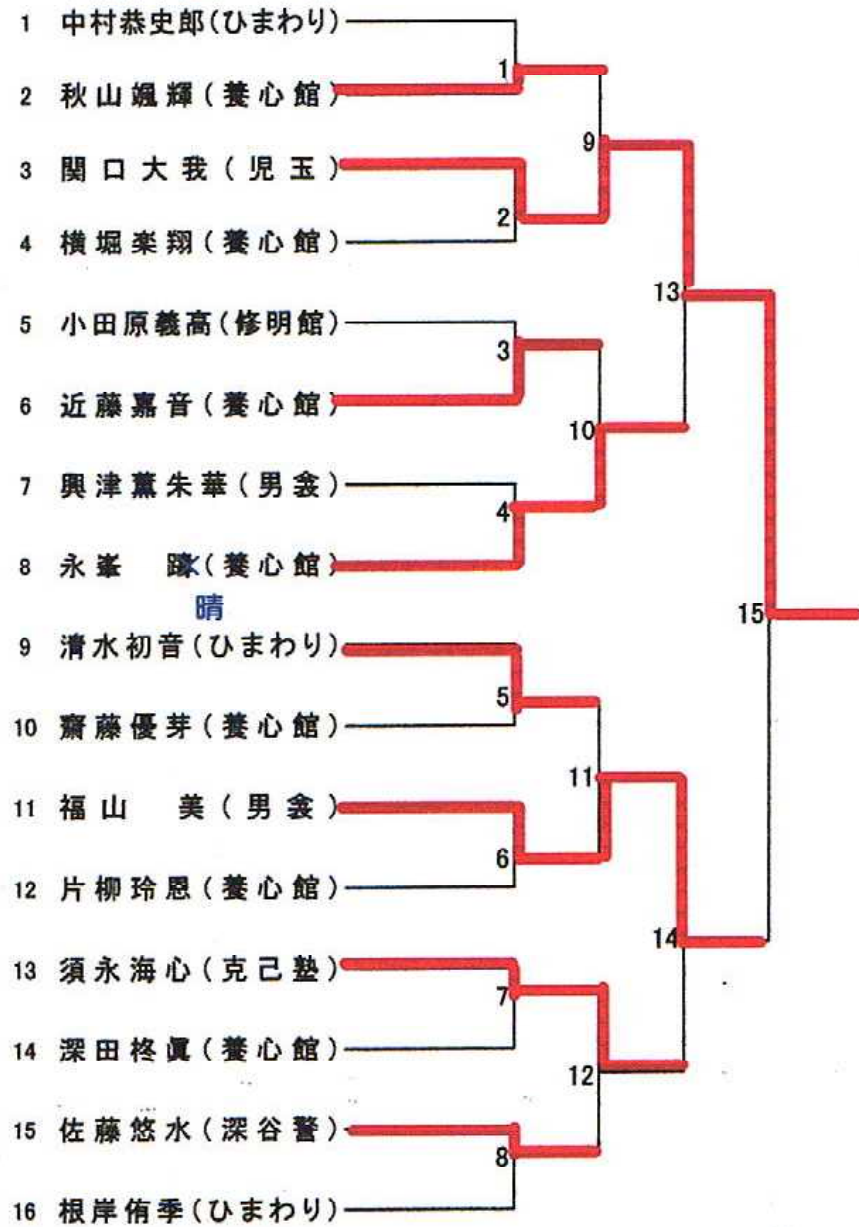
1. 試合審判は、国際柔道連盟審判規定及び「少年大会特別規定」による。
2. 試合時間
小学生以下は2分間、中学生以上は3分間とする。
3. 勝負の判定
個人戦は、すべて僅差判定とする。
4. 禁止技
 - (1) 高校、一般(男女)の部についても
逆背負投(通称)の様な技を施す事を禁止する。
技を施した場合は反則負けとする。
 - (2) 詳細は当日の審判会議にて取り決めるものとする。
5. 組み合わせ
事務局において抽選により行う。
6. 表彰
各階級の優勝・準優勝・三位2名を表彰する。

表彰式・閉会式

幼年の部

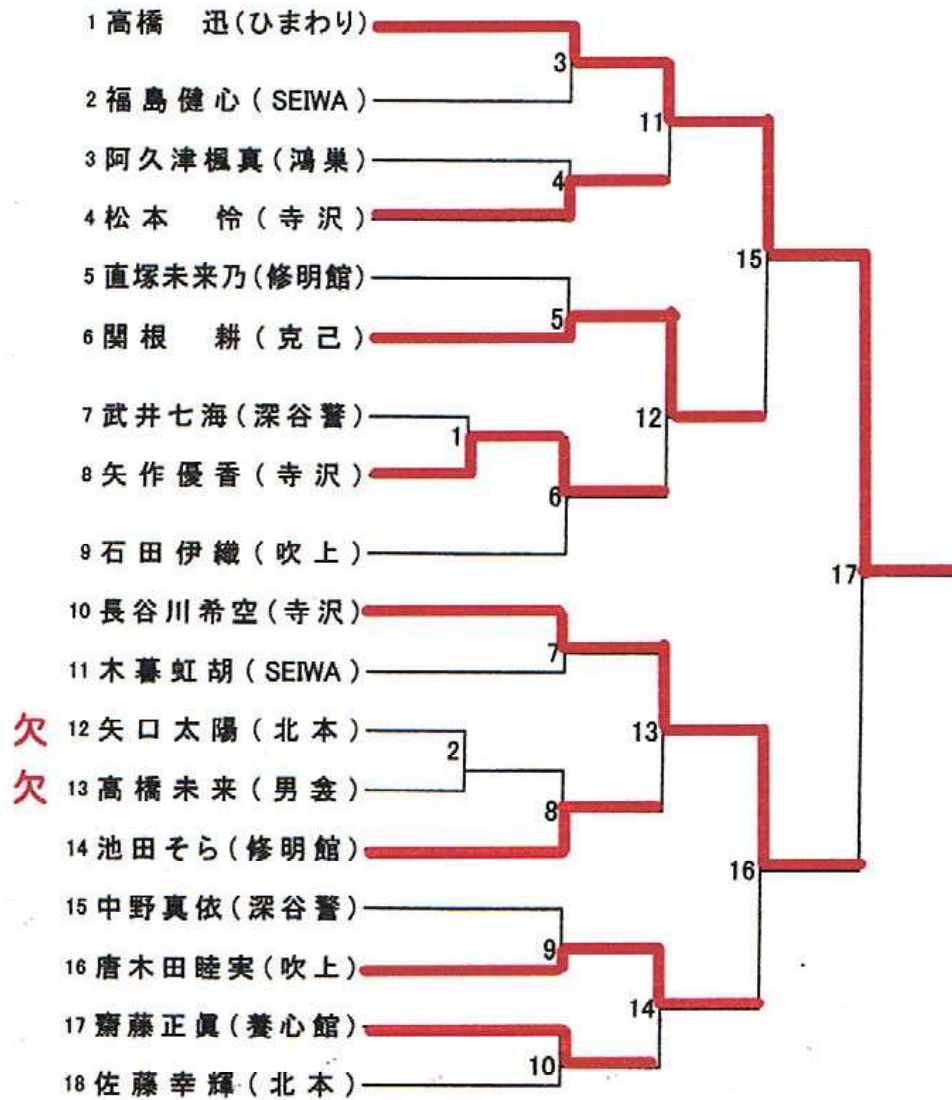
16名

第一試合場



小学1年生の部 18名

第二試合場



小学2年生の部 23名

第一試合場



小学3年生の部 32名 A B

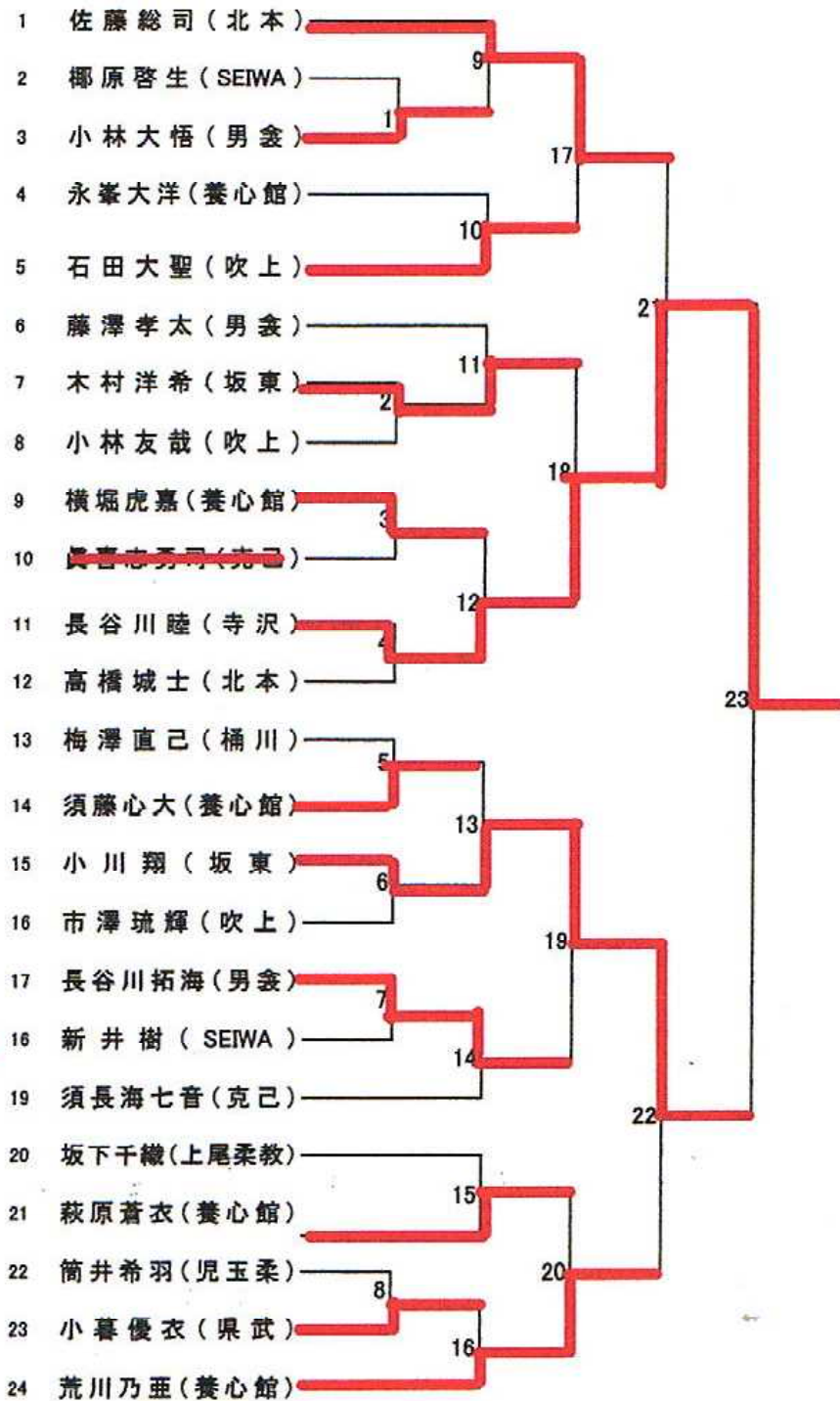
A: 第三試合場

B: 第四試合場



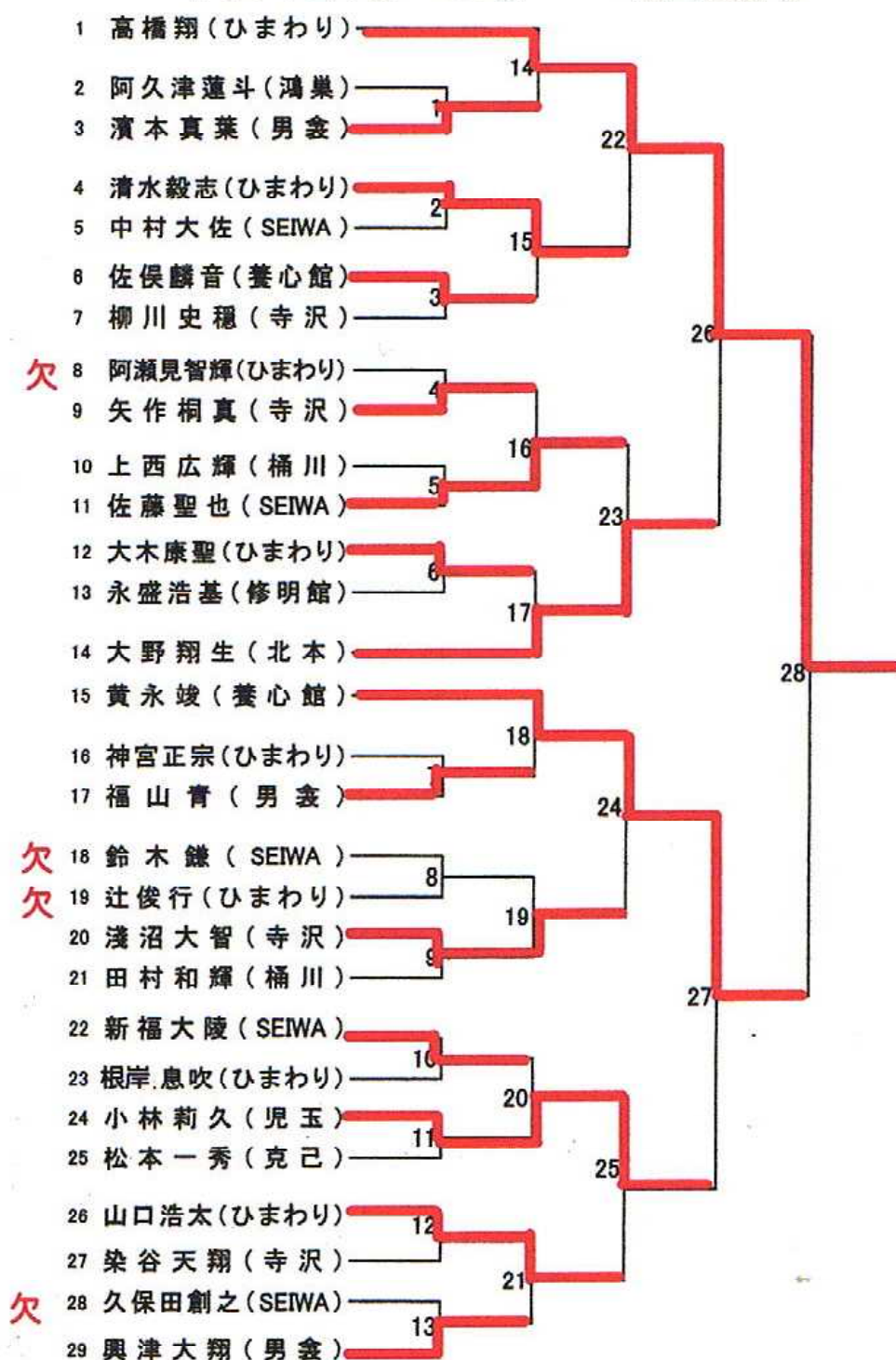
小学4年生の部 24名

第二試合場



小学5年生の部 29名

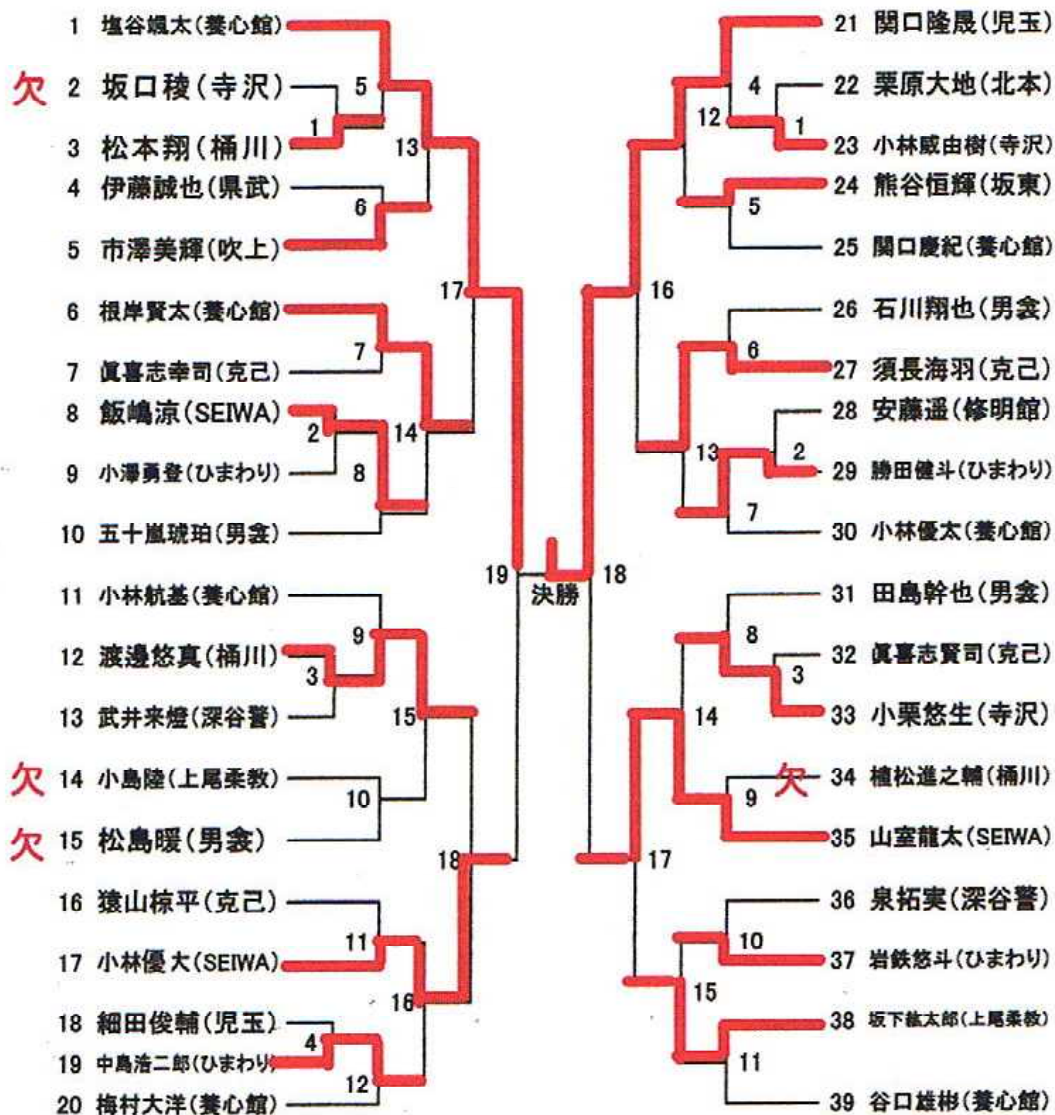
第三試合場



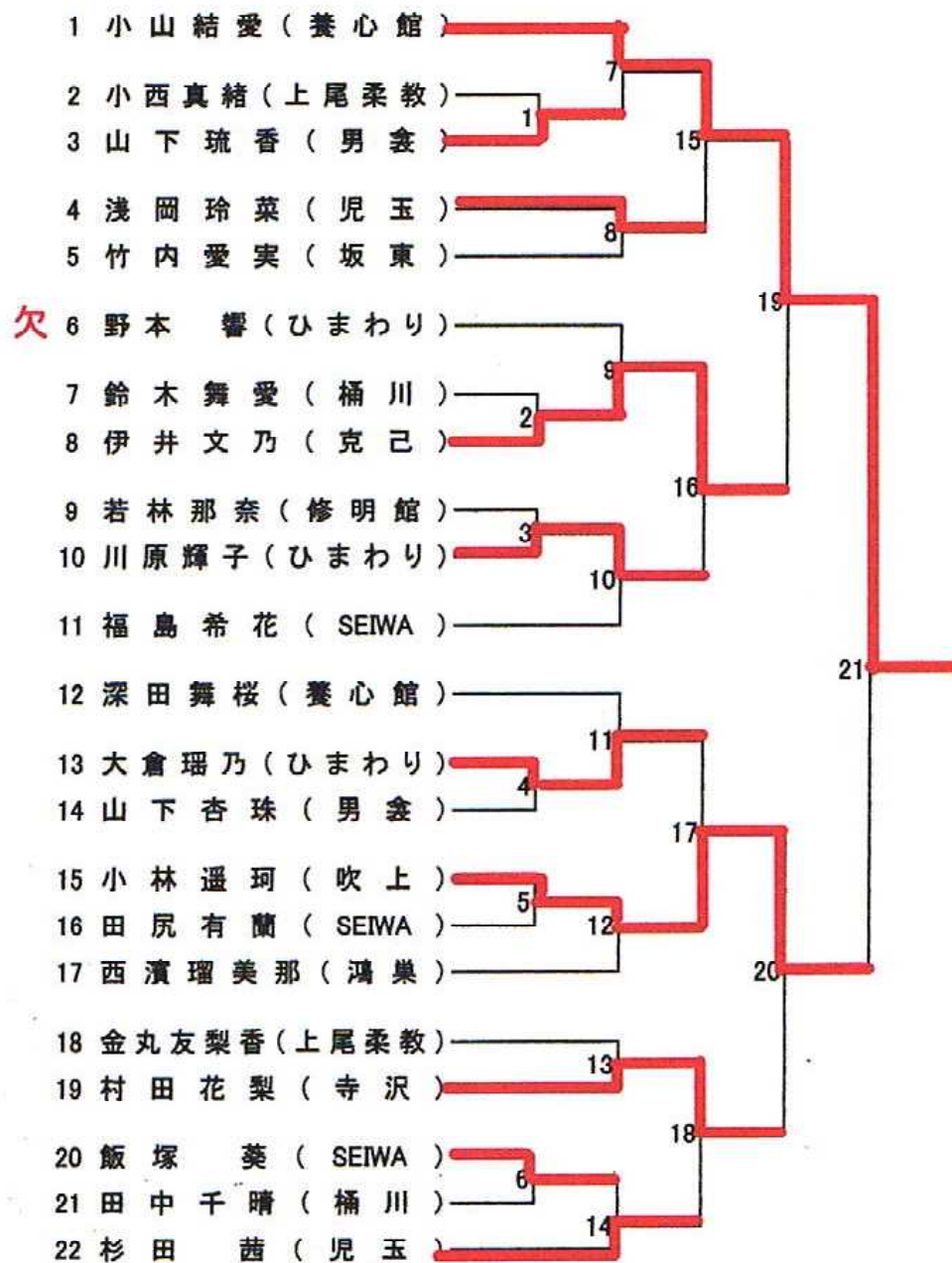
小学6年生の部 39名 A B

A: 第四試合場

B: 第四試合場



小学5・6年生の部【女子】 22名 第三試合場



中学1年生の部 34名 A B

A: 第五試合場

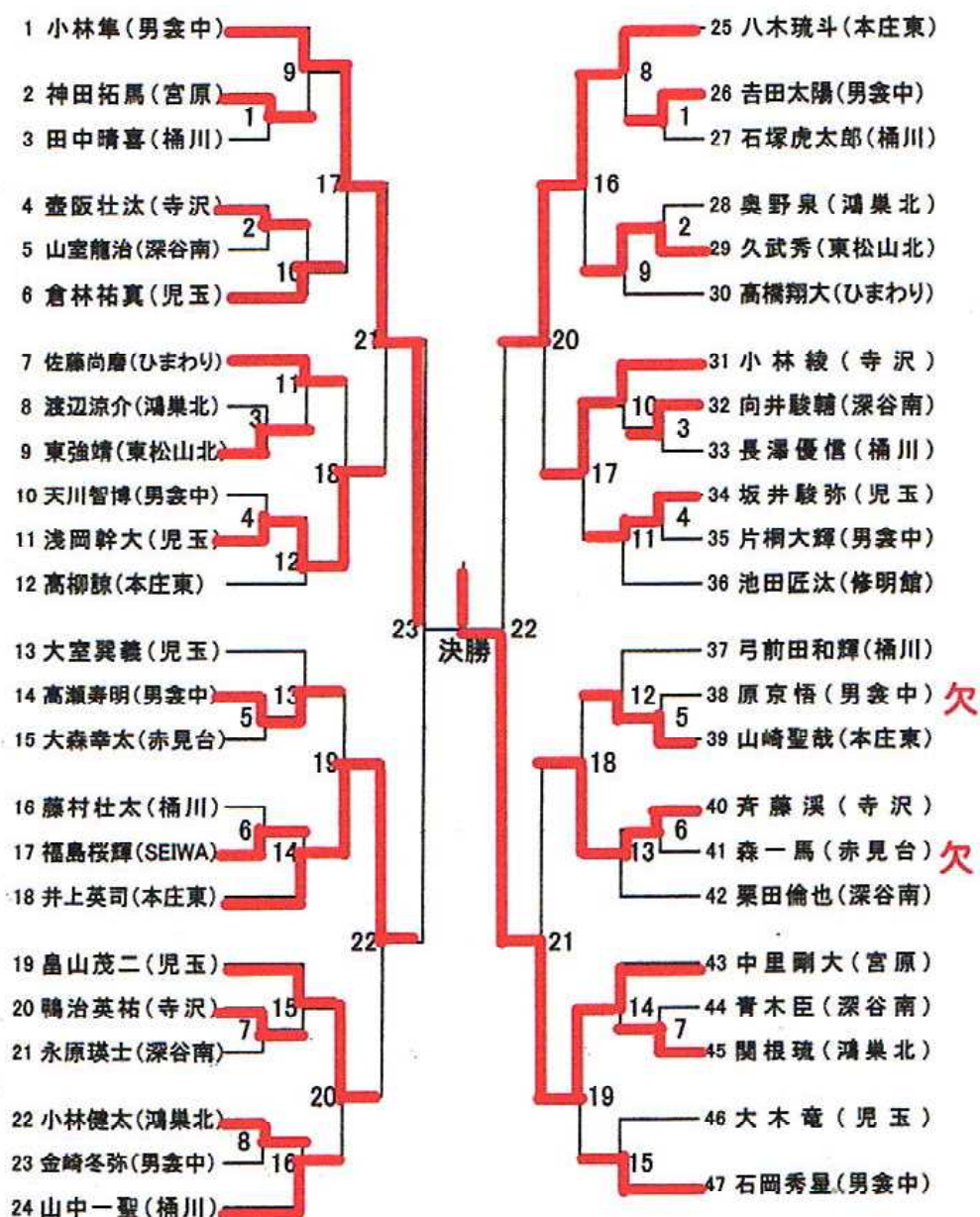
B: 第六試合場



中学2年生の部 A B 47名

A: 第五試合場

B: 第六試合場

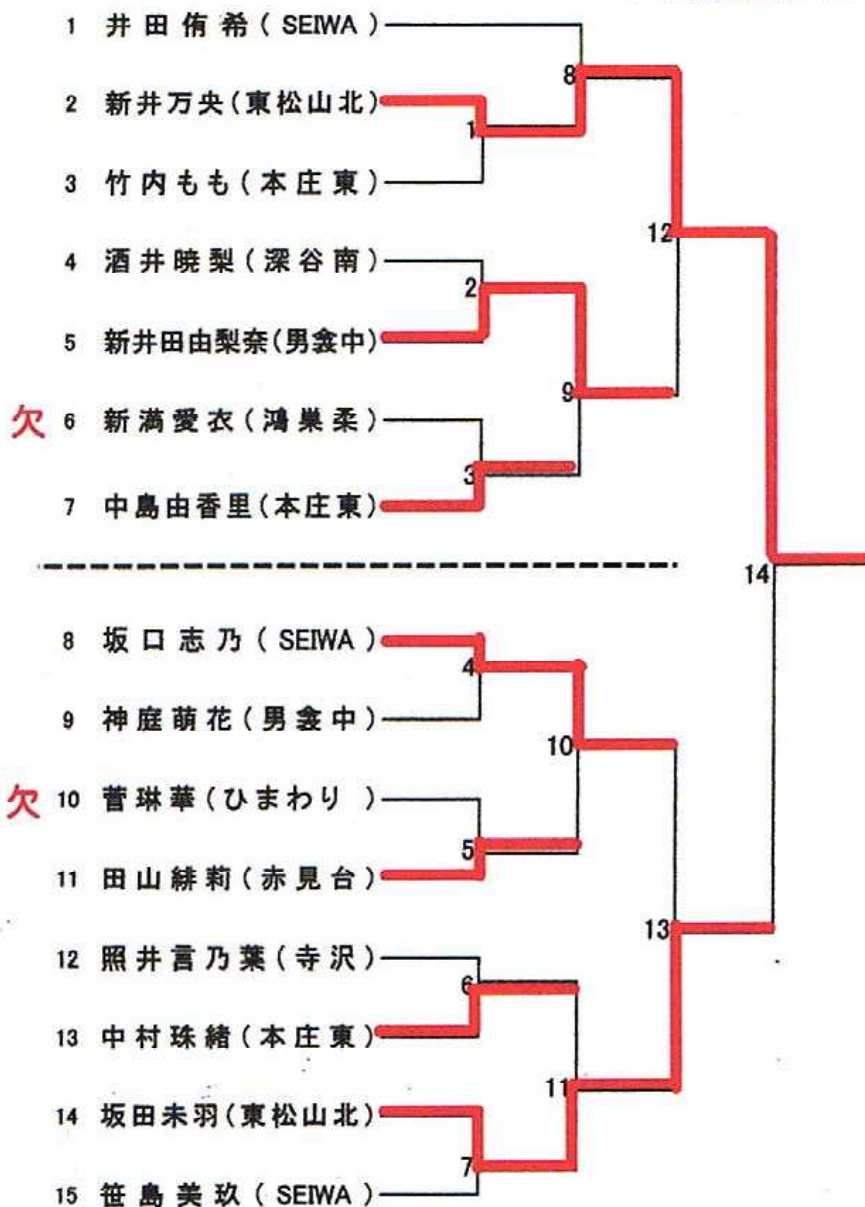


中学3年生の部 11名 第二試合場



中学1年生【女子】の部 A B 15名

A: 第四試合場



B: 第二試合場

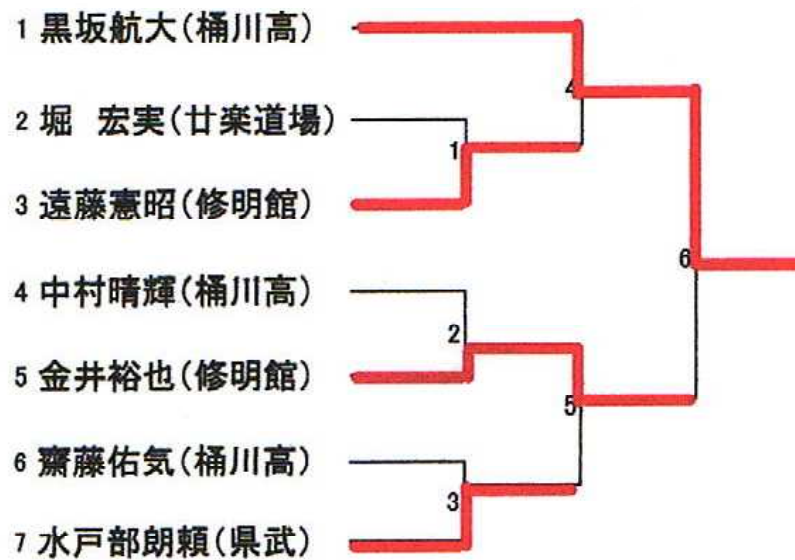
中学2・3年生【女子】の部 15名 第一試合場



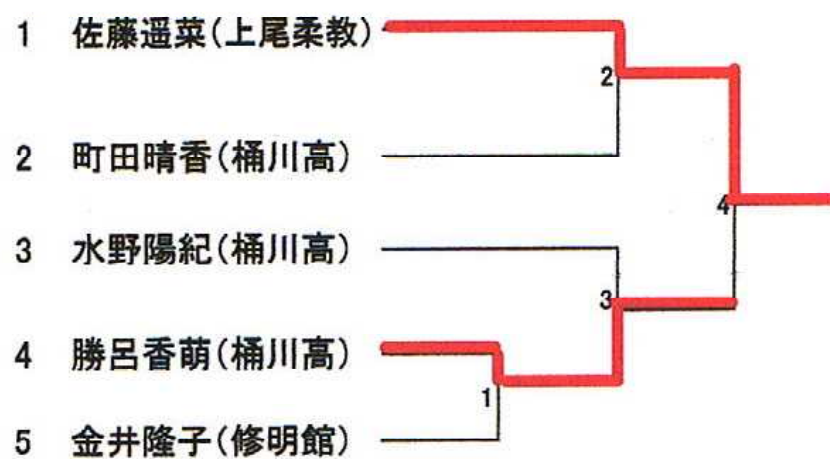
高校一般の部

7名

第一試合場



高校一般の部【女子】 5名 第五試合場



平成28年度参加団体一覧(順不同)

北本市柔道会
上尾市柔道教室
上尾警察署ひまわり柔道教室
桶川武道館
鴻巣柔道センター克己塾
本庄市少年柔道クラブ「養心館」
深谷警察署少年柔道教室
鴻巣市立鴻巣北中学校
鴻巣市立赤見台中学校
本庄市立本庄東中学校
深谷市立南中学校
埼玉県立武道館
寄居男衾道場
児玉町柔友会
竹楽道場
坂東柔心会
吹上少年柔道会
深谷柔道SEIWA会
さいたま市立宮原中学校
鴻巣柔道会
本庄市立児玉中学校
修盟館総本部道場
寄居町立男衾中学校
埼玉県立桶川高等学校
東松山北中学校
志道館 寺沢道場